

漁連花より

令和5年度 漁協理事研修会

JF
JFグループ



長崎県漁業協同組合連合会
長崎県漁連ホームページアドレス
<http://www.nsgyoren.jf-net.ne.jp/>

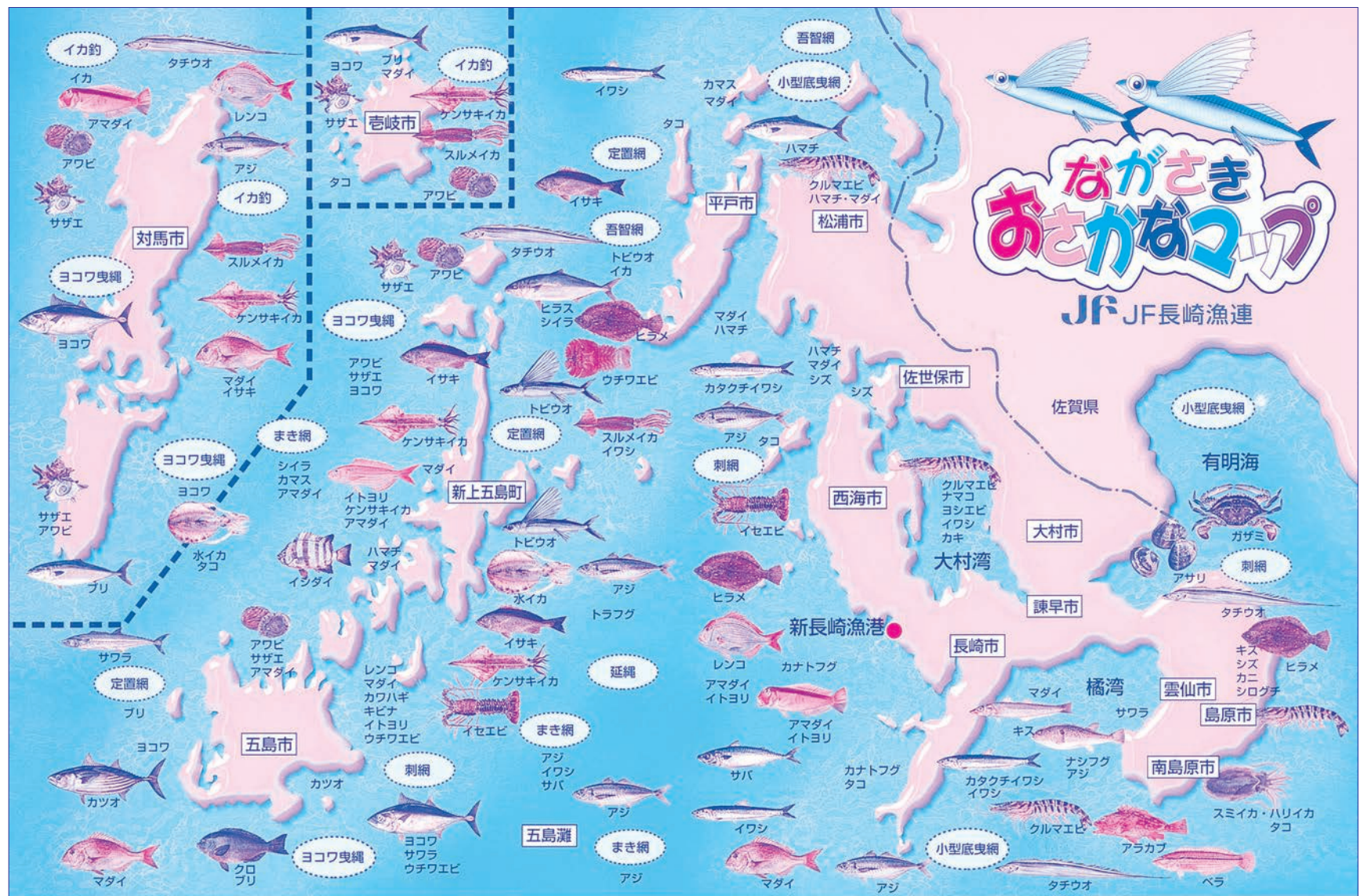
'24
2

No.346



ながさき おさかなマップ

JF JF長崎漁連



長崎の海にはおさかながいっぱい！
 おさかなの名前/魚へんのつくもの

たい ぶり さは あじ まくろ いわし かつお ひらめ がいり きす すずき さわら はも うなぎ このしろ
 鯛・鰯・鯖・鰹・鮭・鰯・鰹・鰹・鮭・鱈・鱈・鰻・鰻 …みんなも覚えてね。

▼	令和五年度『漁協理事研修会』を開催……………	1頁
▼	水産業協同組合監査士に合格……………	2頁
▼	ぎよれん大漁オイルキャンペーンの開催……………	3頁
▼	ながさき水産業大賞表彰式……………	4頁
▼	長崎県漁協青壮年部連合会 会員・部員大募集……………	5頁
▼	「長崎県いか釣漁業協議会」令和五年度県外浜廻り活動……………	6頁
▼	カタクチイワシ及びウルメイワシのTAC管理開始について……………	7頁
▼	マサバの種苗生産技術の開発について……………	9頁
▼	漁船海難月報～速報（二月分）～ 第七管区海上保安本部……………	11頁

表紙の写真

今月号の表紙は、令和五年度「漁協理事研修会」の様子を掲載しています。

令和五年度『漁協理事研修会』を開催

総務指導部 指導課

さる一月二十三日、長崎市において県下漁協の理事を対象とした研修会を開催しました。

当研修会は、漁協経営の中心的役割を果たしている漁協理事を対象に、役員として責務の再認識と併せて、近年の漁協を取り巻く情勢について見識を高め、漁協の健全な発展に寄与することを目的に開催しています。

また、当研修会は例年三年毎に開催していますが、コロナ禍もあり、五年ぶりの開催となりました。更には、寒波襲来による悪天候のため、特に海上交通機関に影響を及ぼしましたが、県内六十二漁協のうち四十三漁協（二百三十名）が参加しました。



開会にあたり、参加者全員で「役員宣誓十カ条」の唱和の後、本会高平会長による主催者挨拶では、漁業者の減少や高齢化、職員の業務負担の増加等により漁協経営が多くの困難に直面していることについて触れ、また、本会を含む本県系統団体では、漁業者が安心して操業できる漁協の体制強化に向けて、合併等による地域の中核となる漁協づくりを目指していることについて述べました。

〈研修内容〉

「漁協運営における役員の責務と

役割発揮について」

全国漁業協同組合学校

校長 吉田 博身 氏

漁協組織や役員の性格・役割、理事会の重要性、職員や組合員と漁協の関係等について、近年の法改正を交えながら、説明がありました。



全国漁業協同組合学校
吉田校長

「全国における漁協合併の

取り組みについて」

全国漁業協同組合連合会 信用・組織指導部

参事 杉田 成 氏

全国における合併に係る取組状況や県一漁協の合併効果、組合員や職員、出資金の推移に係る全国と長崎県の比較等を中心に、将来の漁協経営の課題や合併効果を発揮している事例紹介を交えた説明がありました。



全漁連 信用・組織指導部
杉田参事

「漁業・漁協におけるデジタル化への

取り組みについて」

長崎県水産部漁政課 企画調整班

参事 鈴木 正昭 氏

デジタル化を含むスマート水産業の推進による全国及び長崎県における対象機器の紹介と導入事例を中心に説明がありました。



長崎県水産部漁政課企画調整班
鈴木参事

水産業協同組合監査士に合格！

総務指導部 指導課

水産業協同組合監査士を

受験した田中幹大氏（品質管理室）が日々の業務と受験勉強を両立し見事合格致しました。田中氏は「これまで勉強してきたことが合格という形になり大変嬉しく思っている。勉強で得た知識を業務に活かしていきたい。」と述べました。



田中 幹大 氏
品質管理室

ぎよれん大漁オイルキャンペーンの開催

購販部 購買課

「さる一月二十九日に九十九島漁協本所及び鹿町支所にて「ぎよれん大漁オイル」の推進キャンペーンを開催しました。」

当キャンペーンは、製造元の出光興産(株)と販売元である全漁連同行のもと開催されました。始めに本会よりキャンペーン開催の御礼と実施の主旨を説明した後、資料やパンフレットに基づき、全漁連油質研究所 井原研究員よりぎよれん大漁オイルの基礎知識について説明が行われました。



九十九島漁協本所での様子



九十九島漁協鹿町支所での様子

五十年以上漁業者に愛用されている実績もあり安心して使用していただきたいと強くアピールされました。



井原研究員が説明している様子



ぎよれん大漁オイル

今回の説明会では、漁業者が実際に使用中のオイルを事前に採取し、井原研究員が成分の分析を行い、同等の大漁オイルと比較した結果、大漁オイルは他社製品に比べ清掃分散・酸中和性が強いことが証明できるとの説明がありました。また、大漁オイルは漁業者の為に開発されたオイルで、オイルメーカーやエンジンメーカーの技術者らで開発されたオイルであるため、

当日は本所・鹿町支所併せて四十名程の組合員が参加し、今回の説明会をきっかけに大漁オイルを知った人もいました。また組合員からは「大漁オイルに変更した場合、オイル交換のタイミングは純正オイルの時より延びるのか」「現在、純正オイルを使用しているが、大漁オイルに変更する場合どのグレードにすれば良いか」など様々な質問があり、活発な意見交換がなされました。説明会終了後には、今まで純正オイルを使用していた組合員から多くの注文を頂きました。

今後「大漁オイル」のキャンペーンは、毎年地区を定め数回実施していきますので、興味のある漁業者さんは組合へお問合せいただき、組合を通じて本会購買課までご連絡下さい。

ながさき水産業大賞表彰式

総務指導部 指導課

さる十一月十八日、長崎市の長崎サンプリエルにて、長崎県水産業振興基本計画に沿って地域の特色を活かした先進的な水産業を展開し、成果を上げている個人及び団体を表彰する「ながさき水産業大賞」表彰式が行われました。

本号では十二月号に引き続き「魅力ある漁村づくり部門」で長崎県漁業協同組合連合会長賞を受賞された取組についてご紹介します。

○魅力ある漁村づくり部門

受賞者名： 杵岐市磯焼け対策協議会

【主な取組】 杵岐市内の漁協、市、県が連携した効果的な磯焼け対策による大規模なホンダワラ類藻場の回復を実現

【取組概要】

磯焼けにより大きく減少した藻場の回復に向け、令和二年に市内の漁協、市、県が連携して杵岐市磯焼け対策協議会を立ち上げ、イヌズミハンターとして漁業者へ報酬を出してのイヌズミ駆除、海藻の幼体を付着させた藻場増殖ブロックの設置、漁協の垣根を越えて母藻を島内で融通するための母藻供給ネットワークの構築などに取り組んだ。

結果として、島内で合計二万六千六百六十四匹ものイヌズミ駆除と、六〇枚の藻場増殖ブロック設置が行われ、令和五年には食害防止のための網囲いがない天然海域でのホンダワラ類藻場が推定二〇〇ha以上にまで急速に回復した。



受賞された杵岐市磯焼け対策協議会

長崎県漁協青壮年部連合会 会員・部員大募集

長崎県漁協青壮年部連合会



長崎県漁協青壮年部連合会（以下、「本会」）では、会員相互の連絡協調を図り、漁協青壮年部活動の強化を促進し、漁協と緊密に連携して水産業の発展や漁村文化の向上のため、様々な活動を行っています。

現在は、県下の漁協青壮年部員はもちろんのこと、系統団体や他の経済青年団体の青年部員に加え、研究機関（水産試験場や長崎大学等）とも定期的に情報交換を行っています。今年度は長崎女子短期大学の生徒を対象とした水産教室を一年生、二年生に各一回ずつ開催し、魚食普及活動に努めました。また、研究実践してきた水産業に関する技術、経営ならびに地域活動等の成果を発表する「全国青年漁業者交流会長崎県大会」を昨年十一月に開催し二組が三月に東京で開催される「全国青年・女性漁業者交流大会」に出場致します。その他、会員相互の親睦を深めるための「ソフトボール大会」を開催しはつらつとしたプレーで大いに盛り上がりました。今後、青壮年部組織の更なる活性化および強化を図るため、未加入青壮年部への加入推進活動に力を入れております。

本会の活動に興味がある青壮年部もしくは若手漁業者がいらっしゃれば、事務局までご連絡ください。

●事務局：長崎県漁連指導課内（担当：兵藤）
電話：095182912413



ソフトボール大会の様子



長崎女子短期大学で行った水産教室の様子

「長崎県いか釣漁業協議会」

令和五年度県外浜廻り活動

長崎県いか釣漁業協議会

さる一月十七日から十九日にかけて、長崎県いか釣漁船が入漁する県域の関係者と意見交換を行うため、山口県（山口県庁・特牛魚市場）と福岡県（株福岡魚市場）を訪問し、浜廻り活動を実施しました。

本協議会は、本県沿岸海域並びに県外・沖合に出漁するいか釣業者の出漁調整や操業秩序に努め、いか釣漁業の経営健全化・発展に資することを目的として活動し、その活動の一環として県外浜廻りを実施しています。

【山口県庁・特牛魚市場】

山口県は、延八十一隻の入漁許可を頂いており、本県いか釣漁業者にとって重要ないか釣漁場の拠点となっております。今回、山口県庁と特牛魚市場を訪問し、「近年のいか釣漁業の状況」「入漁及び許可関係」「いか釣操業時のトラブル発生」等について意見交換が行われました。主に、スルメイカ漁が話題に挙げられ、山口県側からは以前まで特牛港沖合にてスルメイカの漁場が形成されていたが、ここ数年は漁場形成されず漁獲量が減少しているとの説明がありました。長崎県も同様にスルメイカの漁獲は大幅に減少しており、本協議会役員からは、「海水温の上昇が要因であり、十五度帯の海水温にならないと、スルメイカの魚群は近づいてこないのでは。」との意見が挙げられました。

また、スルメイカの資源管理についても意見交換がなされ、これまで資源管理に組みながらも資源量が回復しない現状や、一長距離を回遊するスルメイカ



山口県特牛魚市場視察の様子

は国際資源の為、近隣諸国の資源管理協力が必要不可欠ではないか」との声が挙げられました。なお、いか釣漁業における操業トラブル関係については、数十年前までは多少なりトラブルが発生していましたが、近年は目立ったトラブル等は生じていないとの報告があり、今後も山口県と長崎県で協力体制を強化することとなりました。

【株福岡魚市場】

株福岡魚市場は、西日本における水産物流の中心拠点となっており、対馬地区・吉岐地区漁獲のヤリイカ・スルメイカが多く入荷されています。今回、情報収集活動として市場関係者と、漁模様や市場動向について意見交換が行われました。本協議会役員からは、地元漁協のヤリイカ・スルメイカ漁獲状況の報告がなされ、株福岡魚市場からは、世界的ないか類の需給動向や価格帯の説明がなされました。

株福岡魚市場川端社長より、「長崎県のヤリイカ・スルメイカについては当社での取扱高がトップクラスの魚種になる為、今後の豊漁を期待したい」との声を頂き、今後お互いに協力していく事となりました。



株福岡魚市場での意見交換の様子

カタクチイワシ及びウルメイワシの TAC管理開始について

長崎県水産部 漁業振興課

漁業関係者の皆様には、平素より資源管理へのご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。今回は、令和六年一月からTAC管理が開始されたカタクチイワシ及びウルメイワシの資源管理について説明いたします。

○カタクチイワシ及びウルメイワシのTAC管理本格導入に向けて

今回TAC管理が開始されることとなったカタクチイワシ対馬暖流系群及びウルメイワシ対馬暖流系群は、令和三年からTAC管理に関する議論が始まり、令和六年一月からTAC管理を開始することが決定しました。これにより、当該魚種が令和二年の改正漁業法施行以降にTAC魚種に指定された初めての魚種となりました。

国は、新たにTAC管理に取り組み魚種において、管理を段階的に導入する【ステップアップ方式】を採用することとしています。このステップアップ方式とは、TAC管理の本格的な運用にあたる「ステップ3」までに、準備段階にあたる「ステップ1、2」を設け、各ステップにおける課題を解決しながらTAC管理の本格運用へ移行するものです。「ステップ1」では、漁獲実績報告(以下、TAC報告)を義務化して漁獲情報収集体制の構築を図り、「ステップ2」では各管理区分(都道府県を含む)に目安となるTAC数量を提示してTAC管理の運用イメージをつかむことを目指します。この間に浮き彫りとなった課題については、ステップ2の期間中に解決に向けた取組を十分進めたうえで、ステークホルダー会合を再度開催し、漁業関係者との意見交換を経たうえで本格運用である「ステップ3」に移行するとしています。

○「ステップ1」の概要

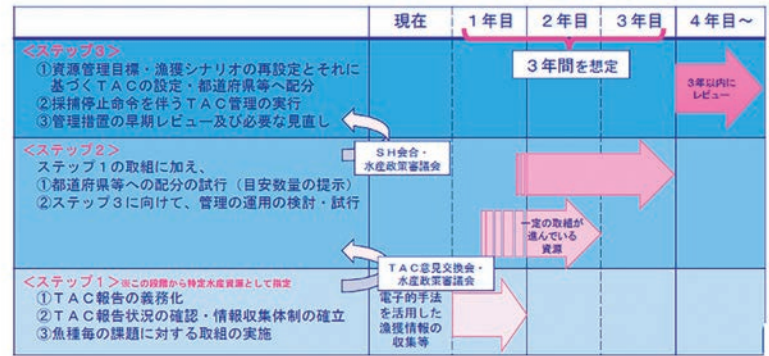
令和六年一月からのステップ1では漁獲実態を把握し、TAC報告に慣れることを目的としており、現在すでにTAC管理を行っている「マジ」や「マサバ及びゴマサバ」等の魚種のような各県へのTAC数量の配分は行わず、国が定めるTAC数量の内数として一括管理され、採捕停止命令が出ることもありません。国の説明では、ステップ1の期間は令和七年までの一年間の予定です。カタクチイワシは、煮干としての加工利用が多い魚種であり、水揚げ直後、速やかに加工されるため、漁獲量を即時に把握できない場合があります。また、カツオ一本釣漁業の活餌として池入れしておく場合や、養殖用餌料として出荷する場合も即時の漁獲量把握が困難です。

このように漁獲直後の数量把握が難しい場合には、加工後の製品重量や、餌として出荷する際のバケツ、缶等の出荷数量を漁獲量に原魚換算して報告していただくこととしておりますので、課題があれば個別にご相談いただければと思います。

本県のカタクチイワシ及びウルメイワシを漁獲するほぼ全ての漁業者の皆様は、TAC報告を所属漁協に委任されていますので、関係漁協におかれては、引き続き適時適切なTAC報告にご協力いただきますようお願いいたします。なお、ステップ1から3までの流れや詳細については、左記図表をご覧ください。

2. TAC管理導入当初の柔軟な運用(ステップアップ①)

- 新たなTAC魚種については、通常のTAC管理への移行までのスケジュールを明確にした上で、TAC管理導入当初は柔軟な運用とし、課題解決を図りながら段階的に順次実施する「ステップアップ管理」を導入。
- 「ステップアップ管理」の考え方及びスケジュールは「資源管理基本方針」に規定し、具体的には以下の3つのステップに分けて、通常のTAC管理導入に向けたプロセスを確実に実施。
- ステップ2までの間に課題解決の取組等に十分な進展があった場合に、ステップ3へ移行する。このため、ステップ3へ移行する前には、ステークホルダー（SH）会合を開催してステップ2までにおける取組状況等について意見交換を実施。（ステップ1・2で3年間を想定）



2. TAC管理導入当初の柔軟な運用(ステップアップ②)

	ステップ1	ステップ2	ステップ3
資源管理の目標	漁業法第12条第1項第1号に基づく目標（漁業の実態等を踏まえた目標（PGY）も含む）		これまでに得られた情報を基に更新した資源評価に基づき設定
漁獲シナリオ	資源管理の目標を達成する漁獲シナリオを選択		新たな資源管理の目標に基づく漁獲シナリオを選択
TACの設定	漁獲シナリオから導かれるABCの範囲内で設定		左に同じ
TACの配分	実質的に同一括の管理とし、具体的な配分量は設定しない ただし、都道府県に対し、今後、具体的な管理を行うために参考となる数量を提示	都道府県等への配分の試行を実施（自主的な資源管理の取組内容を含む漁業の実態や資源の特性に応じた配分ルール等の検討を含む）	配分ルールに基づき、都道府県等へ配分（漁獲量上位8割に含まれる場合は数量明示、それ以外は現行水準とする）
漁獲が積み上がった場合の対応	法第33条に基づく「採捕停止命令」は行わないこととする（※1）	法第33条に基づく「採捕停止命令」は行わないこととする。ただし、「採捕停止命令」の発出の仕方を検討（※1）	ステップ2までの結果を踏まえ、法第32条及び第33条に基づく「助言・指導・勧告、採捕停止命令」を実施
自主的な資源管理	従前から行われている自主的な取組を引き続き実施しつつ、利用可能な科学的知見を基に、その効果を検証		自主的な資源管理の効果の検証を踏まえ、管理の工夫に反映
魚種毎の課題に対する取組	資源の特性や漁業の実態を踏まえ、関係者間で、通常のTAC管理導入に当たっての課題を整理し、ステップ2までの間に十分な進展を得ることとする ステップ3へ移行する前にSH会合を開催して、ステップ2までにおける取組状況等について意見交換		導入された運用等により課題解決が図れているかを検証 必要に応じ運用の改良等を検討

※1 漁獲実績を積み上げるために明らかに漁獲努力量を増やしている等、TAC管理の趣旨に逆行するような採案が見られる場合には、ステップアップ管理の取組を適切に進める上で必要な助言・指導等を行うものとする。

※2 ステップアップ管理を含む新たな資源管理の推進にあたっては、関係する漁業者の理解と協力を得た上で、着実に実行していくものとする。

○ TAC報告を通じた漁獲情報収集の意義

ステップ1では、情報収集体制を整備することとされていますが、ご報告いただいた漁獲実績が、どのように活用されるのか、いくつかポイントをご紹介します。

(一) 資源評価への活用

資源の状態を把握するために研究機関が行う資源評価では、市場での漁獲物調査や調査船による調査で得られるデータのほか、漁業者の皆様からご提供されるTAC報告でいただく漁獲量データが利用されています。魚がいつ、どれだけ獲れたか、という漁業者の皆様からのTAC報告が、資源評価の精度向上にも繋がり、漁業現場の感覚・実態に見合った資源評価に繋がります。

(二) TAC数量算定のための基本シナリオへの活用

TAC数量は、同じ資源を利用する他県や大臣管理漁業を含めた全体の漁獲量のうち、それぞれが占める割合（基本シェア）に準じて配分されます。この基本シェアの基礎となるデータは、農林水産統計やTAC報告に基づく漁獲実績が利用されるため、適切なTAC報告が正確なTAC数量の配分に繋がります。

○ おまぐせ

この度、カタクチイワシ及びウルメイワシがTAC魚種追加となり、関係漁業者及び漁協の皆様にはTAC報告の負担が増えることをご心配のことかと思えます。令和三年から四年度にかけて漁獲報告デジタル化推進事業で実施した販売システムの改修等により漁獲報告のデジタル化を推進していきますので、当課といたしましても引き続き、報告事務の負担軽減を図ってまいります。

本格TAC開始に向け、ステップ1,2と試行期間が続きますが、TACに関するご意見や疑問、ご相談等あれば、随時、当課までご連絡をいただきますようお願いいたします。

マサバの種苗生産技術の開発について

長崎県総合水産試験場
種苗量産技術開発センター 魚類科

はじめに

マサバはスズキ目サバ科に属し、国内では主にまき網、釣り、定置網などで漁獲されています。マサバは日本人にとって馴染みのある食材ですが、近年のサバ食ブームでさらに注目を集めています。また、養殖業においてもマサバのブランド化が進み、ハーブサバ（長崎県）、唐津Qサバ（佐賀県）、お嬢サバ（鳥取県）、小浜鯖（福井県）等が知られています。

マサバの養殖が全国的に広がる一方で、養殖に用いられる種苗は、ほとんどが入手の不安定な天然資源に依存しています。このため、今後も種苗を安定して供給するためには、人工種苗の量産技術の確立が不可欠です。

そこで、総合水産試験場では、令和三年度からマサバの種苗生産技術の開発に取り組んでいます。今回は、マサバ種苗生産について、令和五年度に行った種苗生産試験を紹介します。

採卵について

令和五年度の試験では、人工授精による採卵を行いました（図一）。一回目の採卵では排卵を誘導するためのホルモン投与から三六時間後に雌親魚から卵を搾出し、事前に用意した精子を使って人工授精を行いました。しかし、この時の受精率は〇パーセントでした。一般に、魚類の人工授精ではホルモン投与から受精までのタイミングが重要で、このタイミングが遅れると受精率が低下することが知られています。そこで、二回目の採卵では、ホルモン投与から受

精までの時間を三〇時間に短縮しました。その結果、受精率は六八〜七八パーセントと大きく改善され、二個体の雌親魚から計九万粒の受精卵を得ることができました（図二）。この受精卵のふ化率は高く、九九パーセントでした。このように、マサバにおいても、ホルモン投与後の受精のタイミングの調整により、受精率が高まることが分かりました。

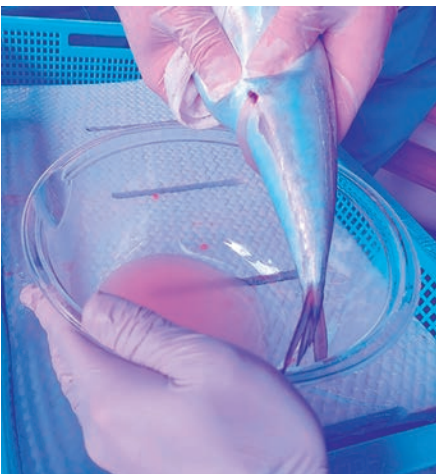


図1 採卵の様子

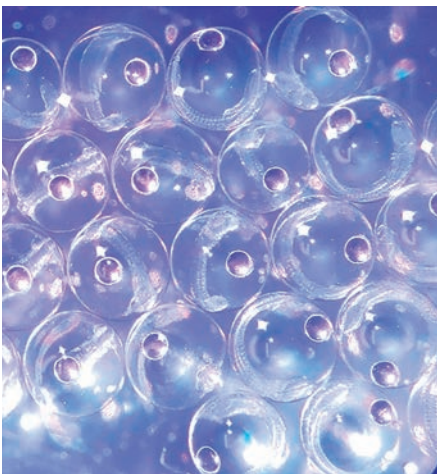


図2 マサバの受精卵（卵径1.0mm）

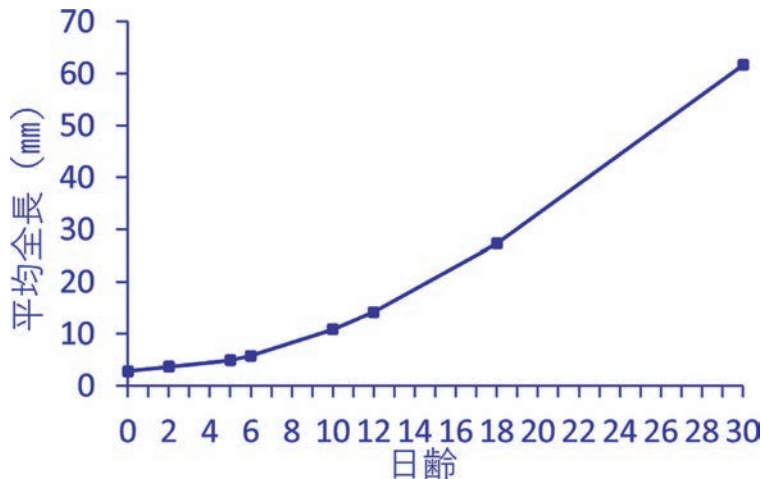


図4 マサバの成長

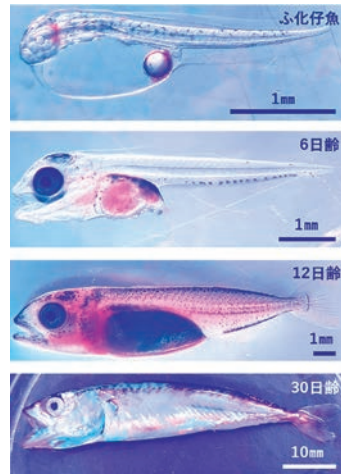


図3 日齢別のマサバ仔稚魚

仔稚魚の飼育について

仔稚魚の飼育では、ふ化後三日目（二日齢）の開口時から動物プランクトンのワムシの給餌を開始し、八日齢からアルテミアのノープリウス幼生、一一日齢から配合飼料を給餌します。

成長は早く(図三、図四)、全長三ミリメートルのふ化仔魚が、二〇日間(※一)で種苗出荷サイズの六〇ミリメートルに成長しました。また、生残率も高く、五日齢で九二パーセント、一〇日齢で六〇パーセント、取り上げ時の三〇日齢で二四パーセントでした(令和三年度試験では、さらに高い五七%)。

このように、マサバは成長が早いいため、ふ化後二〇日で取上げが可能で、生残率が高く、さらに、必要な餌はワムシ、アルテミア、配合飼料と単純です(※二)。これらのことから、マサバ種苗は、低コストで手間をかけずに生産できる優れた性質を持っていることが分かります。

おわりに

低コストで育てやすいマサバ種苗ですが、量産技術の確立のためには、良質卵を安定して大量に得るための採卵技術の開発が不可欠です。令和五年度の自然産卵試験により、ある程度その可能性が見えてきましたので、今後の進展が期待されます。

さらに、残された課題として、より安定して高い生残率を得るために、共食いを防止するためのサイズ選別技術を向上させる必要があります。

今後も、これらの課題に取り組み、マサバ種苗供給の安定化に貢献したいと考えています。

(担当) 平江 想

※一 ヒラメやマダイの場合では、六〇日間かかります。

※二 サバ科に属するクロマグロやスマの種苗生産では、他魚種のふ化仔魚が餌として必要です。

海の事故 **0** を目指して

自船の安全確保3か条

その1 発航前、機関や燃料等の点検の実施

発航前は、船体とエンジン周り、燃料・潤滑油の量、バッテリーの状態を点検するとともに、最新の気象・水路情報等を入手しましょう！

その2 航行時、常時見張りの徹底

航行時は、他の船舶の動向や浅瀬・定置網など周囲の水域の状況を継続して把握する必要があることから、常時適切な見張りを実施しましょう！

その3 故障時に備え、救助支援者の確保

事故で最も多いのが機関故障！発航する際は、万が一の機関故障の発生に備え、仲間の船やマリナー等の救助艇による救助体制をあらかじめ確保しておきましょう！

また、併せて入航時刻等を家族やマリナー等へ連絡しておきましょう！
※水上オートバイは民間救助組織の対象外の場合がありますので注意しましょう。

海難防止のための
いろいろな情報を
掲載していますよ！



Water Safety Guide



海上保安庁

海を安全に安心して楽しむための
総合安全情報サイト！
ウォーターセーフティガイド



船舶海難通報

マリナーレジャー
人身海難通報

日々の海難を掲載！
海難速報



ツイッター公式アカウント
[@JCG_koho]



YouTube 公式アカウント
[海上保安庁]



海上保安庁 海の安全推進本部

[海の安全情報] に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

海上保安庁交通部安全対策課

TEL 03-3591-6361 (代表) MAIL jcg-mics@mlit.go.jp

平成31年3月作成

漁船海難月報 令和6年2月号 第七管区海上保安本部 交通部安全対策課 発行

令和6年1月発生
七管内漁船海難 計4隻

令和6年1月末現在 累計 4隻 (前年同 4隻)

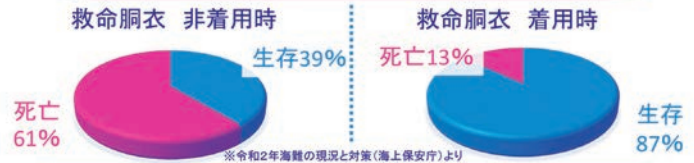
漁船海難隻数 (通報値)	県別内訳	
	1月	令和6年累計
運航不能 (推進器障害) ■ 2	山口県 0	0(0)
	福岡県 0	0(2)
	佐賀県 0	0(0)
運航不能 (無人漂流) ◆ 2	長崎県 3	3(2)
	大分県 1	1(0)
合計 4隻 (昨年 4隻) 死亡、行方不明者: 4名	合計 4隻	4隻 (4隻) 0は昨年同月

累計死亡・行方不明者数 4名(令和6年1月末日現在)



令和6年1月中、漁船から海中転落し、死亡及び行方不明となる事故が多発しました。

海上荒天や漁労作業等、海中転落するリスクは常に付きまとっています。救命胴衣は海中転落した際の生存率を高めます。必ず救命胴衣を着用しましょう。



リンク先の「救命胴衣の点検マニュアル」を確認して、もしもの時に備えましょう



あっぱれ



信頼を実績で築く

船舶塗料の専門店

CMP 中国塗料株式会社 船務部 山二塗料です

外壁塗装+屋根塗装なら 無料 山二におまかせください!!

屋根塗装 外壁塗装 防水工事 断熱工事 防虫工事 防カビ工事

山二塗料 山二塗料

創業昭和24年の実績を結んだ専門店

山二塗料産業株式会社

〒951-1102 長崎市魚の町3-40 1F

☎ 0956-31-8020

☎ 095-837-8020

☎ 099-260-0600



デザイン、企画、製造から
お届けまでトータルパッケージ!

グラビア印刷/農水産用包装資材/包装機械/発泡スチロール

株式会社 **丸本**

本社・営業部/〒851-0134 長崎市田中町593-1
☎ 095-837-8205 FAX 095-837-8208
工場・営業所/福岡工場・熊本工場・福岡営業所



まごころで大きく包む
MARUMOTO



定置網周辺の潮流・水温
リアルタイム計測

日付	時刻	電圧	外気温	水温	流速 (cm/sec)	流向	電圧	流速 (knot)
2020-07-09	08:40:36	6.06	24.1	20.52	15.24	20.86	11.14	0.30
2020-07-09	08:30:33	6.05	24.1	20.49	11.92	27.24	11.14	0.23
2020-07-09	08:20:33	6.06	24.4	20.48	11.95	26.53	11.13	0.23

潮流・水温観測用ブイ

- ＜主な仕様＞
- フロート径 : Φ100cm
- フロート材料 : 厚膜ウレタンコーティング樹脂製
- 筐体材料 : 耐食アルミニウム合金
- 全備質量 : 約52kg (蓄電池含む)
- 適用電源 : 鉛蓄電池 (12V80AH)
- ＜適合機器＞
- 通信機器 : 携帯電話 (ドコモ、ソフトバンク、MVNO)
- 計測センサ : 潮流 (流向流速)、水温

株式会社ゼニライトブイ

九州営業所 TEL:092-674-0001 FAX:092-674-0002

一般作業用長靴

ハイピジョン (23.0cm ~ 28.0cm)

合羽 **シーガル201**

SHIBATA

シバタ工業株式会社

長崎出張所 〒852-8124 長崎市辻町 3-40 平山ビル 1F
TEL.095-844-1210

ONLINE STORE
<https://shibataproshop.jp/>

FURUNO

CHALLENGE
the
INVISIBLE.

“見えないものを見るために”

www.furuno.com

古野電気株式会社

北九州支店 / 長崎営業所 095-861-3261 佐世保営業所 0956-48-4440
福岡営業所 092-711-1777

Printing & Planning
SEIBUNSHA

(有)正文社印刷所

〒850-0874 長崎市魚の町6番6号
TEL (095) 826-0211
FAX (095) 825-0538
URL <https://seibunsha.jp>



貝殻
リサイクル魚礁

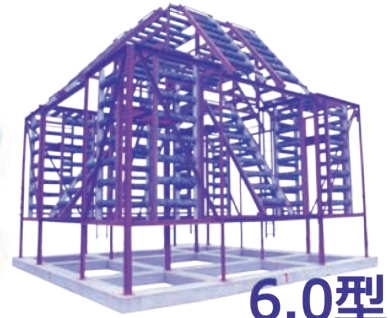


再生材料を使用 88%
品名 シェルナース
製造者 海洋建設株式会社

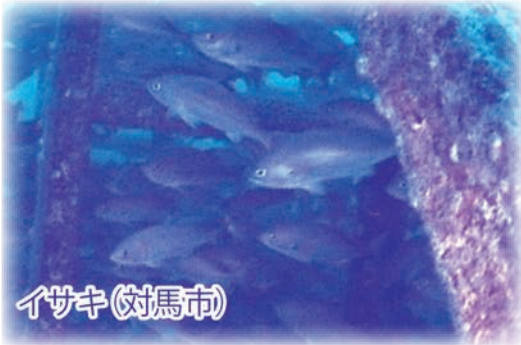


長崎県認定リサイクル製品

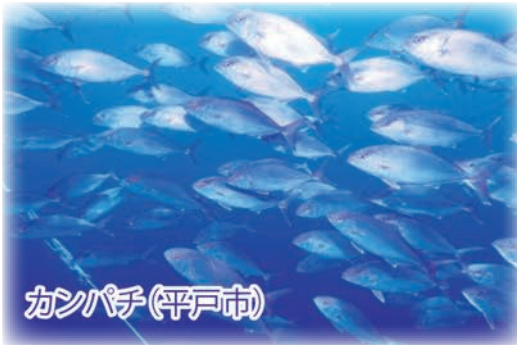
JFシェルナース



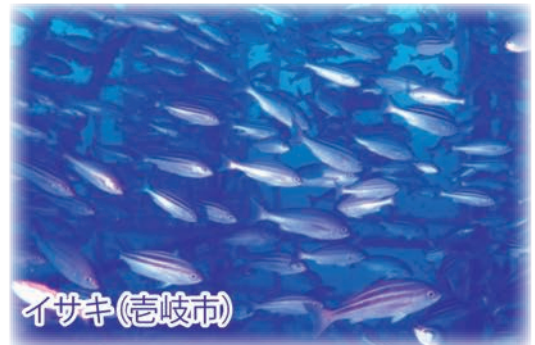
6.0型



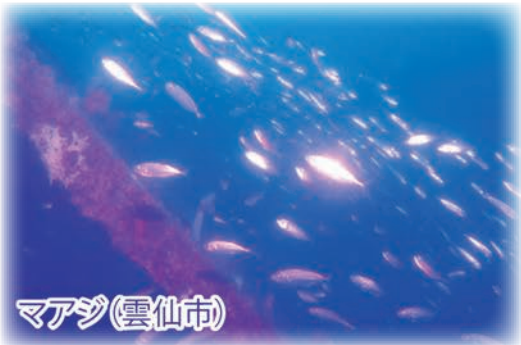
イサキ(対馬市)



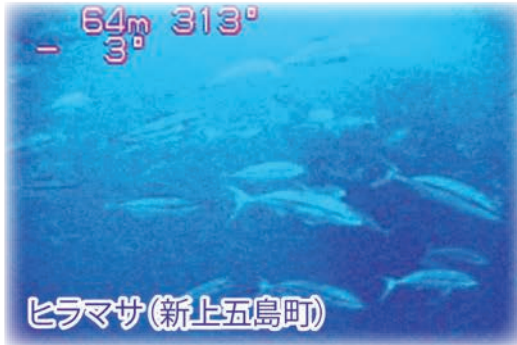
カンパチ(平戸市)



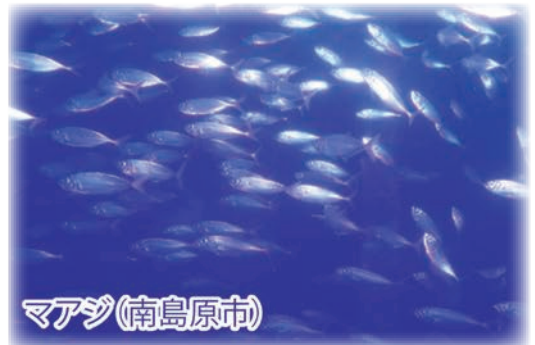
イサキ(壱岐市)



マアヅ(雲仙市)



ヒラマサ(新上五島町)



マアヅ(南島原市)

お問合せ

JF長崎漁連 購販部 購買課 TEL 095-829-2420

開発・製造

海洋建設株式会社

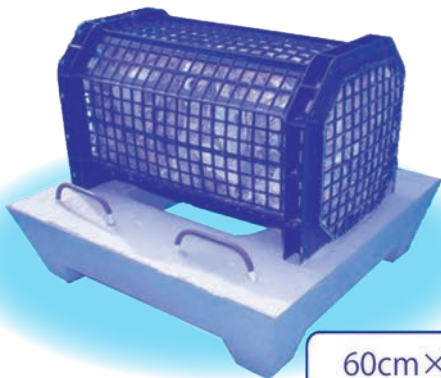


漁師の考えた藻場ブロック

かいそう
貝藻くん



貝藻くん紹介
動画 (YouTube)
ご覧ください！



長崎県 約900基
(全国 約8,700基)の
採用実績
(2013~2021.3)

60cm×55cm×45cm、重量60kg



クロメ生育状況

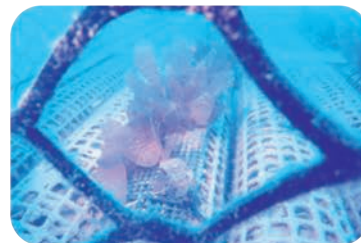


貝藻くんの
下に隠れるクエ

シェルナース フラス1.0型



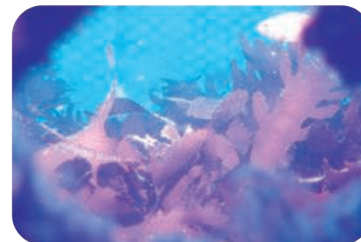
⇐ 漁業者による
種苗の準備



2ヵ月後 (長崎市)



4~5ヵ月後 (対馬市)



1年5ヵ月後 (平戸市)



2年2ヵ月後 (諫早市)

取り付けた海藻は
順調に生長しています！

JF
JFグループ

着けよう、
あなたが家族のことを
思うなら。



めさせ！
海難事故ゼロ



膨張時

反射リフレクター
エア吹入補充バルブ
ホイッスル
炭酸ガスポンプ
手動レバー

自分の命は自分で守る！

わずらわしさと窮屈さから解放！
ベスト感覚で着れる
ファッションなライフジャケット
常時着用型救命胴衣(自動膨張式)

お問い合わせは、長崎県漁連 購買課まで TEL 095-829-2418~2420

インターネットショッピングサイト

長崎県の安全・安心で新鮮な鮮魚・加工品を

インターネットを通じてダイレクトに食卓へお届けします！！

美味しいものはここにある



長崎漁連

ウェブショッピング

JF長崎漁連

<https://www.jf-nagasaki.com>



長崎自慢の海産物を
ネットでお取り寄せ！



長崎漁連

検索

JF 長崎県漁業協同組合連合会

漁協は、JFグループへ。

JFブランド商品

“ギョレンオイル 大漁 シリーズ”

漁船用エンジンのための最高級オイル。

〈エンジンオイル〉

大漁スーパー

大漁ロイヤル

大漁LL

〈油圧作動オイル〉

大漁ハイドロスーパー

〈冷凍機オイル〉

大漁ベストクール



海には、JFマークの商品を。

JF

JFグループ

問い合わせ先

JF全漁連 購買事業部 石油第2課

TEL 03-6222-1323

JF長崎漁連 購買課

TEL 095-829-2419



受け継がれていく
信頼の証

ギョレンオイル
大漁
シリーズ



「ギョレンオイル大漁」 発売から 50 年



「ギョレンオイル大漁」は、漁船で使用される機械とその使用条件を考慮して定めた規格に合わせて開発した、漁船のためのエンジンオイルです。

ギョレンオイル
大漁
シリーズ

大漁スーパー

中・小型漁船の高速エンジン用 (SAE30、40、15W-40)

大漁ロイヤル

大・中型漁船の中・低速エンジンオイル (SAE30、40)

大漁LL

大・中型漁船の長期航海用 (30、40)
小型高出力エンジン用のロングライフオイル (15W-40)

大漁ハイドロスーパー

耐荷重性に優れた漁船用油圧作動油 (ISO VG32、46)

大漁ベストクール

陸上冷凍装置から遠洋漁業の超低温冷凍装置まで
(ISO VG32、46)